

株式会社アインホールディングス代表取締役社長 大谷 喜一 殿

「東京大学医科学研究所先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携部門」に関する公開質問書

2016年3月22日
全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会
代表者 松藤 美香
191-0043 東京都日野市平山5-19-11
(電話・FAX) 042-594-1337
<http://hpv-danger.jp>
神奈川県支部代表 山田 真美子
<http://kanasibu4976.heteml.jp>

私達「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」は、HPVワクチンの被害患者団体です。当連絡会が調査をしたところ、貴社の寄付講座である「東京大学医科学研究所先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携部門」（上昌広東京大学特任教授）がこれまで行ってきた活動について、極めて問題であると判断しており、以下のとおりご質問します。

つきましては2016年3月29日までに文書をもってご回答下さいますようお願いいたします。

なお、ご回答については当連絡会ウェブサイトにて公開させていただきます。

[質問事項]

1. 貴社が「東京大学医科学研究所先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携部門」（上昌広東京大学特任教授）に寄付を行うこととなった経緯、その意義と理由について明らかにしてください。
2. 報道等で上記寄付講座のスタッフである久住英二氏が理事長を務めるナビタスクリニックに協力して、クリニックを開設したとのことですが、その協力とは具体的に何を示すのか明らかにしてください。
<http://tachikawa.keizai.biz/headline/279/>資料1
3. 都内と川崎の3ヵ所にあるナビタスクリニックにアイン薬局が併設されている理由を明らかにしてください。
4. 上特任教授や上研究室のスタッフである久住英二氏らによるHPV被害者らに対する暴言等を行なっていることをご存じでしょうか。そのことについて、貴社はどのようにお考えでしょうか。

[質問の理由]

第1 貴社と上研究室等との関係性について

東京大学医科学研究所の公式サイトに貴社の寄付講座である「東京大学医科学研究所先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携部門」(上昌広東京大学特任教授)(以下、「上研究室」)の研究目的が記載されています。

<http://expres.umin.jp/> 資料2

また、貴社が購入し、全国のアイングループ 500 店舗に無料配布されている「ロハス・メディカル」というフリーペーパーがあります。

(http://lohasmedical.jp/mediainfo/2016/#target/page_no=3)

この「ロハス・メディカル」について、上研究室の公式サイトには「私たちは 2005 年 10 月の創刊より編集に協力しています。」と記載されています。

(<http://expres.umin.jp/mission/literacy.html>) 資料3

上研究室は創刊時よりこのフリーペーパーの編集に協力しており、上氏が編集委員として参加し、久住氏やアインファーマシーズの上席執行役員である土居由有子氏もコラムを執筆しています。「ロハス・メディカル」は、これまで再三にわたり子宮頸がんワクチンをはじめワクチンを推進する記事を掲載してきました。

[子宮頸がんワクチンに関する例]

「ワクチンギャップ解消に必要なもの」

(http://lohasmedical.jp/blog/2012/10/post_2567.php) 資料4

「女性という『性』を失う」子宮頸がん-癌研公開講座で患者会の穴田佐和子氏」

(<http://lohasmedical.jp/news/2010/08/30210054.php>) 資料5

「子宮頸がんワクチンの公費助成求め、23 団体が合同で大臣に要望」

(<http://lohasmedical.jp/news/2010/07/21133723.php>) 資料6

「子宮頸がんワクチン接種に公費助成を」12 団体が与党に要望」

(<http://lohasmedical.jp/news/2010/05/28151402.php>) 資料7

「公費で、学校で、打つべき子宮頸がんワクチン がんセンターシンポから」

(<http://lohasmedical.jp/news/2010/01/17182525.php?page=1>) 資料8

「子宮頸がんワクチンの定期接種化と保険収載求める 市民のためのがん治療の会」

(<http://lohasmedical.jp/news/2009/12/04112013.php>) 資料9

「子宮がんワクチン 使用が広がるためには。」

(http://lohasmedical.jp/blog/2009/10/post_2065.php) 資料10

すなわち私達被害者にとって、上研究室が行ってきた「研究」とはワクチンのロビー活動であるものと評価せざるを得ません。そして、上特任教授は、ロビー活動のみならず、ワクチン接種を大きな売りにしていると思われる「医療法人社団鉄医会ナビタスクリニック」の経営にも関与しているのではないかと推察されます。

上特任教授が編集長を務める「医療ガバナンス学会(MRIC)」という団体は、「学会」を名乗っていますが、いわゆるレビュージャーナルではなく、主な活動はメー

ルマガジンの発行です。そして、上特任教授はこのメールマガジンを活用して「子宮頸がんワクチンを公費接種に」などという運動を盛んに行なってきました。そして、同学会の理事長で「医療法人社団鉄医会ナビタスクリニック」の理事長でもある久住英二氏は上研究室のスタッフです。

久住氏が経営するナビタスクリニックは、現在、立川、東中野、川崎の3施設があります。そして、久住氏だけでなく、立川の院長である細田和孝氏と東中野の院長である濱木珠恵氏(研究協力者)も上研究室に所属しています。他にも、スタッフとして勤務している坪倉正治氏と谷本哲也氏も上特任教授の研究室に所属しています。

<http://expres.umin.jp/staff/index.html> 資料 11

他方、各ナビタスクリニックには、いずれにも同じビル内にアイン薬局が設置されています。このことから、久住氏とナビタスクリニックとは貴社との関わりが深いと思慮されます。

第2 上特任教授や久住氏の言動について

私達は、2015年4月21日、HPVワクチン接種後に発生している重篤な健康被害とHPVワクチンとの因果関係を否定し、HPVワクチン接種後の健康被害に関する報道を非難してHPVワクチンの接種をすすめようとしている『HPV JAPAN』という実態不明の団体が出した声明文に対して、抗議の記者会見を行いました。

『HPV JAPAN』はその実態が不明でありHPVワクチン製造販売企業から多額の寄付を受けている『子宮頸がん制圧をめざす専門家会議』との関連も疑われており、さらにこの声明が医療ガバナンス学会のメールマガジンに大々的に取り上げられたことから、上特任教授や久住氏の関与が取り沙汰されています。

そして、上特任教授や久住氏は、Twitterをはじめとするネットメディアにおいて、子宮頸がんワクチンの被害患者の被害の訴えなどについて、「醜悪」などと述べたり、「社会運動」などとレッテルを貼ったりしています。また、子宮頸がんワクチン接種による健康被害を取り上げた報道に対しても「過失」「故意犯」などとあたかも犯罪であるかのごとき発言を行ったりもしています。

「子宮頸がんワクチンで被害を受けた、という方々の問題は、反原発活動と同様、先鋭化しすぎて一般の方々の賛同を受けられにくい、という点にあると思う。そして、ポリオ生ワクチン被害者やVPD被害者を引き合いに出している点が醜悪である。」

<https://twitter.com/KusumiEiji/status/519287168037306369> 資料 12

「16歳の高校生を利用した「社会運動」は、そろそろ止めたらどうだろう。彼女にWHOやCDC、EMAの見解を伝え、ちゃんとした医師を紹介すべきではなかろうか 子宮頸がん:救済求め署名活動 ワクチン被害、望月さん訴え /山梨 - 毎日新聞 <http://mainichi.jp/articles/20151227/dtl/k19/040/141000c...>

<https://twitter.com/KamiMasahiro/status/681038352208928768> 資料 12

「HPV ワクチン騒動は、マスコミの「過失」から始まりました。他に病因がある患者が、「何が何でも HPV ワクチンのせいにしたい」大人の都合で無意味な闘争に巻き込まれています。世界のコンセンサスは出ました。マスコミの皆さん、そろそろ「反省」しませんか。これ以上やると「故意犯」になります。

<https://twitter.com/KamiMasahiro/status/676695894176198656> 資料 12

「HPV ワクチンのメディア報道について文章を書きました。お読み頂ければ幸いです。 http://biz-journal.jp/2016/01/post_13319.html ... 「すでに HPV ワクチンに関する世界のコンセンサスは確立された。朝日新聞は、そろそろ「反省」したらどうだろうか。これ以上やると「故意犯」になる。」

<https://twitter.com/KamiMasahiro/status/688504369445253122> 資料 12

「拙文です。お読みいただければ幸いです。

子宮頸がん患者を「見殺し」にする国と朝日新聞…安全ワクチンの危険性煽り接種禁止 http://biz-journal.jp/2016/01/post_13319.html ... biz_journal より

<https://twitter.com/KamiMasahiro/status/688254553813172225> 資料 12

第3 貴社に問われること

医薬品を扱う仕事は人間の生命に向き合う仕事でもあり、調剤薬局にも特別な公共性や社会性が求められます。実際にアインホールディングスの公式サイトにも CSR活動についての記載がされています。

<http://www.ainj.co.jp/about/csr/>

しかし、HPV ワクチン被害者は、ワクチンを勧める医師や製薬会社を信頼し、ワクチン接種し、大きな被害に遭いました。そして、被害患者とその家族は、被害に苦しむ日々を、長きにわたり送っています。HPV ワクチン被害については、現時点において、副反応ではないと断定できる明確な科学的根拠がありません。

にもかかわらず、被害患者等を非難し続ける上特任教授や久住氏の言動は、貴社の企業理念にとっても相応しいとは言えないと思います。

以上のことから上研究室に多額の寄付を行った貴社に対して、その経緯と真意をお尋ねし、上特任教授らの活動についての考えをお聞かせ頂きたく、質問をさせていただきます次第です。

以上